



# 長町中は今

学校目標  
自主  
友愛  
創造

<http://www.sendai-c.ed.jp/~nagajh00/>  
ともに 上をめざして 長中

平成25年9月27日  
仙台市立長町中学校  
学校だより 第25号  
電話：(248)1444

## 絶望の中から希望の光を！



迫力ある演奏と心に響くトーク



吹奏楽部も参加



9月24日(火)、ジャズトランペッターの大野俊三さんを迎えて、長町中学校体育館で全校生徒を対象に「虹の彼方に」と題して、トーク&演奏会を実施しました。大野さんは、1980年代に2度もグラミー賞に輝くほどの世界的なミュージシャンです。しかし、その後、交通事故に巻き込まれ、唇を切り、前歯を折るなどトランペッターとして致命的な大けがを負いました。さらに1996年には、扁桃癌を除去する大手術を受け、片側の唾液腺と神経を除去、再びトランペッターとしての致命的傷害を受けました。それでも不撓不屈の挑戦により、楽器を一から練習し直す状態から演奏活動を再開できるようになり、現在もなお、世界の第一線で現役として活躍しています。

今回は、震災復興の一環として、長町中学校に訪問していただき、人間としての生き方を語り、素晴らしい演奏を披露していただきました。大野さんと長年一緒に活動していた元プロドラマーの根本秀一さんもトランペットとのセッションで迫力ある演奏を披露してくださいました。長町中学校の生徒の心の中に、これから人生を生きていく上での大きな示唆を与えてくれました。(トーク&演奏会の様子は、当日の夕方のニュースで放送され、翌日の河北新報にも掲載されました。)

大野さんのお話から ○違う価値観を持った人とのかわりのなかで強い意志を持って生きる。 ○心の力、思う力、そして思い込みの力を強く持つ。 ○絶望から希望の光を見出す。○雨が降ったあとに虹が架かるように、苦労した後に幸せになる。 ○1人1人は必ず何らかの才能を持っている。 ○自分のできることを最後までやり続ける強い意志を持ち実行する。すると初めて思ってもいない力が出てくる。 ○限界まで努力すれば、希望の光が見えてくる。 ○今、この時、努力する。 ○自分はできるんだと自分を褒め続ける。 ○一番苦労した人が一番幸せになる。 ○心のダイヤモンドを輝かせる。 ○体は不自由でも、心まで不自由にはならない。 ○限界の中に無限の可能性がある。 ○心で負けたらそれで負けだ